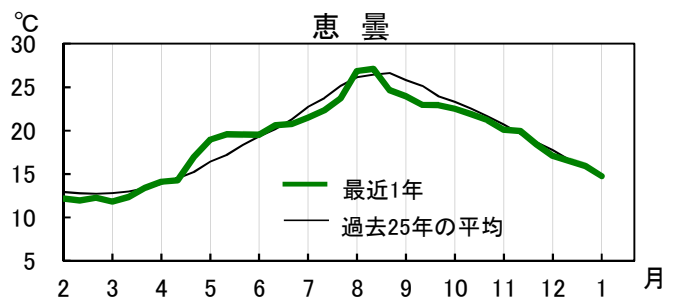
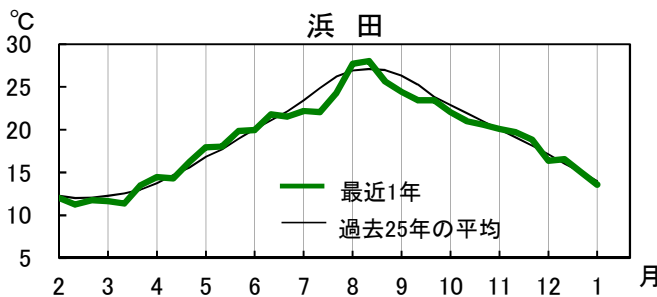




## 《12～1月の海況》

12月	月平均	平年差	評価
浜田	15.9℃	-0.1℃	平年並み
恵曇	16.6℃	-0.2℃	平年並み

沿岸定地水温は、浜田地区では12月は、上旬が「やや低め」、中旬が「やや高め」、下旬が「平年並み」で変動しました。恵曇地区では12月は上旬が「やや低め」でしたが、中・下旬は「平年並み」でした。1月に入り上旬時点では両地区とも「平年並み」で経過しています。



## 《12月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は43.3トンで平年を上回りました。魚種別の動向で見ると、マアジは平年並みだったものの、サバ類が623トンで平年の8倍となりました。隠岐地区ではブリ、サバ類、ソウダガツオ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は、43.3トンで平年を下回りました。魚種別の動向で見ると、ブリは1,408トンで平年の1.8倍でしたが、サバ類は1,301トンで平年の6割となりました。また、ソウダガツオ類は両区とも平年の10倍近い漁獲がありました。

## 【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカ主体(全体の99%)の漁況で、ヤリイカ、ケンサキイカ、アオリイカがわずかに混じり、1隻1航海当りの漁獲量は1,048kgで平年を上回りました。一方、西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(同76%)とヤリイカ(同23%)の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は113kgで平年並みでした。

## 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、ソウハチ、ムシガレイ主体の漁獲で、1統1航海当たり漁獲量は14.7トンでほぼ前年の1.1倍、平年の1.1倍の水揚げとなりました。魚種別の動向で見ると、キダイは平年の1.3倍、ソウハチは平年の1.1倍の水揚げでしたが、ムシガレイは平年の6割でした。その他、ヤリイカは平年の3.0倍、アカムツは平年の2.8倍で、エソ類は平年の1.4倍の水揚げでした。

## 【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではヤリイカ、ソウハチ、アンコウが主体で、1統1航海当たり漁獲量は742kgで前年の1.2倍、平年の9割の水揚げとなりました。魚種別の動向で見ると、ヤリイカが平年の10.6倍と極めて好調で、ソウハチは平年の7割、アンコウは平年の1.4倍の水揚げでした。その他、ニギスは平年の1.6倍、マダラは平年の5割、アナゴ類は平年の2.5倍の水揚げでした。

## 【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類主体の漁況で、1統1航海当り漁獲量は17.4トンで平年並みでした。魚種別の動向で見ると、サワラ類が平年の1.8倍だったほか、マアジが平年並み、カマスが平年の2.7倍、サバ類が平年の4.1倍の水揚げでした。石見地区ではサワラ類、マアジ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当り漁獲量は10.3トンで平年の1.8倍の水揚げとなりました。魚種別の動向で見ると、サワラ類が平年の3.7倍と好調で、マアジが平年並み、サバ類が平年の3.1倍だったほか、他の魚種も概ね平年並みか平年を上回りました。隠岐地区ではスルメイカ、サバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当り漁獲量は19.8トンで前年の5割の水揚げとなりましたが、平年並みでした。魚種別の動向で見ると、スルメイカは平年の3割の水揚げでしたが、サバ類が平年の5.2倍、マアジが平年の1.6倍だったほか、他の魚種も概ね平年並みか平年を上回りました。

## 【釣・縄】

出雲地区ではサワラ類、ブリが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は37kgで平年並みでした。石見地区でサワラ類、ヒラマサが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は19kgで平年を下回りました。隠岐地区ではブリ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は30kgで平年並みでした。

【平成 27 年 12 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	866 トン	311%	327%	43.3 トン	171%	245%	◎
	隠岐	ブリ、サバ類、ソウダガツオ	4,026 トン	162%	73%	43.3 トン	113%	57%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	43 トン	7,725%	299%	1,048kg	6,218%	1,262%	◎
	西郷	スルメイカ, ヤリイカ	3 トン	13%	53%	113kg	57%	124%	○
沖合 底びき網	浜田	キダイ、ソウハチ、ムシガレイ	411 トン	119%	116%	14.7 トン	107%	111%	◎
小型底曳網	大田	ヤリイカ、ソウハチ、アンコウ	401 トン	216%	115%	742kg	115%	90%	▲
定置網 (大型)	出雲	サワラ類	191 トン	98%	95%	17.4 トン	98%	95%	○
	石見	サワラ類、マアジ、サバ類	41 トン	226%	176%	10.3 トン	283%	182%	◎
	隠岐	スルメイカ、サバ類、マアジ	40 トン	33%	59%	19.8 トン	50%	88%	○
釣り・縄	出雲	サワラ類, ブリ	62 トン	142%	109%	37kg	97%	108%	○
	石見	サワラ類, ヒラマサ	37 トン	163%	90%	19kg	68%	65%	▲
	隠岐	ブリ, メダイ	22 トン	125%	123%	30kg	78%	98%	○

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

今月は「ケンサキイカ情報」はお休みです（5 月号から再開する予定です）。